

ごあいさつ

熊本博物館は昭和27年(1952年)に開館し、令和4年(2022年)2月に創立70周年の節目を迎えることができました。これまでの長きにわたり、当館の諸活動にご支援とご協力を賜っております皆様方に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、当館は「広域情報型・市民開放型・郷土立脚型・人間密着型の博物館」という四つの基本理念を継承しつつ、誰もが何度でも訪れたくなる博物館、知的好奇心に応えられる博物館たりうるよう日々の取組を行ってまいりました。

平成30年(2018年)12月のリニューアルオープン以降もその理念に基づき、「未来へつなぐ熊本の記憶－集める・伝える・創造する－」という全体テーマを掲げ、魅力的な展示活動、楽しく学べる教育普及活動、各分野における調査・研究及び収集・保存活動など、総合博物館にふさわしい多種多様な活動を積極的に展開しているところです。

令和3年(2021年)度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらない状況下で、いくつかの行事・イベント等は残念ながら中止せざるを得ませんでした。しかし一方で、十分な感染症対策と運営面の工夫に努めながら、春には「平成28年(2016年)熊本地震」から5年が経過する年にあたり、当時の被災状況に改めて思いを馳せ、震災の教訓を伝承していく企画展「震災をふりかえる－大地とモノが語る熊本地震－」を開催し、7月からは様々な表現で宇宙や星空の世界を描くアーティストKAGAYA(カガヤ)氏の作品を展示した夏季特別展「銀河鉄道の夜－KAGAYA 星空の世界展－」を実施することができました。そのほか、「未来へつなぐ植物の記録」、「能楽伝承」、「くまはくコレクション 肥後のやきもの」など、コロナ禍にありながらも多彩な企画展を計画通りに開催できたことは幸いでした。また、各分野の通年講座や学校と連携して取り組んでいる学校教育支援事業など、徐々に本来の博物館活動を取り戻すとともに、次の節目に向けて新たな一歩を踏み出すきっかけとなる年にもなりました。

今後も当館は、長年蓄積されてきた熊本の歴史や文化、人と自然との深いかかわりを楽しく分かりやすくお伝えし、多くの皆様に親しまれる博物館を目指してまいります。

引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年(2022年)6月
熊本博物館長 竹原 浩朗